

### Ⅲ. 住民が情報を適切に理解するための取組

種 別	Ⅲ－１. 水害に関する講演会・勉強会等の開催	
細 別	住民向け講演会・勉強会等の開催	
事 例	住民向け講演会・勉強会の開催（水害協による取組）	F-01
概 要	防災情報の適切な理解、風水害への日頃からの備え、避難の重要性、地域の防災リーダーの役割等を住民に理解してもらうために開催するものである。	
内 容	 <p>テーマ： 風水害の基礎知識と家庭でできる日頃の備え</p>	 <p>テーマ： 自主防災組織の必要性や自助・共助による 防災リーダーの役割、災害時の心得</p>
	 <p>テーマ： 地域の防災リーダーを目指して～水害編～</p>	 <p>テーマ： 水害のこわさと安全な避難の方法を知ろう</p>
ポイント (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会や勉強会では、市町が住民に理解頂きたい内容を伝えることができる。</li> <li>・住民が情報を適切に理解することで、自助・共助の向上にもつながる。</li> <li>・地域特性や想定できる災害を住民が共有できる。</li> </ul>	

### Ⅲ. 住民が情報を適切に理解するための取組

種 別	Ⅲ－１. 水害に関する講演会・勉強会等の開催																			
細 別	住民向け講演会・勉強会等の開催																			
事 例	地域防災推進員育成研修会等の開催（枚方市による取組）	F-02																		
概 要	地域防災推進員とは、地域における防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担い、いざという時に自助・共助の精神で人命救助や応急消火等を行える人材を育成し、地域防災力を向上することを目的に開催するものである。																			
内 容	<p style="text-align: center;"><b>地域防災推進員育成研修会</b></p> <p><b>目的</b>          地域防災推進員育成研修会は、地域住民一人一人の防災対策の重要性を地域全体に普及させる役割を担い、いざという時に、自助・共助の精神で人命救助や応急消火等を行える人材を育成することで、継続的かつ効果的に地域防災力を向上することを目的としています。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="3">1日目（3日とも同内容、希望日時で受講）</th> </tr> <tr> <th>日程 A（9月14日）</th> <th>日程 B（9月28日）</th> <th>日程 C（10月12日）</th> </tr> <tr> <td>研修内容 DIG 訓練・資機材の取り扱い等の実技訓練</td> <td>研修内容 DIG 訓練・資機材の取り扱い等の実技訓練</td> <td>研修内容 DIG 訓練・資機材の取り扱い等の実技訓練</td> </tr> <tr> <td>人数（予定） 45人程度</td> <td>人数（予定） 45人程度</td> <td>人数（予定） 45人程度</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓ ↓ ↓</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2">2日目（1日目受講者が全員受講） 10月26日</th> </tr> <tr> <td>研修内容</td> <td>講義形式の研修</td> </tr> <tr> <td>人数（最大）</td> <td>150人</td> </tr> </table> <div style="text-align: center;">  </div>		1日目（3日とも同内容、希望日時で受講）			日程 A（9月14日）	日程 B（9月28日）	日程 C（10月12日）	研修内容 DIG 訓練・資機材の取り扱い等の実技訓練	研修内容 DIG 訓練・資機材の取り扱い等の実技訓練	研修内容 DIG 訓練・資機材の取り扱い等の実技訓練	人数（予定） 45人程度	人数（予定） 45人程度	人数（予定） 45人程度	2日目（1日目受講者が全員受講） 10月26日		研修内容	講義形式の研修	人数（最大）	150人
1日目（3日とも同内容、希望日時で受講）																				
日程 A（9月14日）	日程 B（9月28日）	日程 C（10月12日）																		
研修内容 DIG 訓練・資機材の取り扱い等の実技訓練	研修内容 DIG 訓練・資機材の取り扱い等の実技訓練	研修内容 DIG 訓練・資機材の取り扱い等の実技訓練																		
人数（予定） 45人程度	人数（予定） 45人程度	人数（予定） 45人程度																		
2日目（1日目受講者が全員受講） 10月26日																				
研修内容	講義形式の研修																			
人数（最大）	150人																			
ポイント（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講習会、実技演習を経験することで、自助・共助の向上、地域防災力の向上につながる。</li> <li>・地域防災リーダーの育成につながる。</li> </ul>																			

### Ⅲ. 住民が情報を適切に理解するための取組

種 別	Ⅲ-1. 水害に関する講演会・勉強会等の開催	
細 別	住民向け講演会・勉強会等の開催	
事 例	クロスロードゲームの開催（水害協による取組）	F-03
概 要	避難時に関連した問題を提示し、住民はその時どうするのかを考え、参加者の様々な意見の共有や避難の重要性を学ぶために開催するものである。	
内 容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>第1問 「子供たちの避難」に関して</b></p> <p>あなたの自宅の周辺は、もの凄い雨のため浸水が始まっており、先ほど井手町から避難勧告が発令されました。 あなたは職場にいますが、あなたのお子さんは一人で自宅にします。すぐに帰宅しても1時間程度を要します。 あなたの自宅は、木津川が氾濫すると完全に浸水する区域に入ります。 ここで問題です。あなたはお子さんにどのように避難を促しますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の夕方(16時頃)</li> <li>・避難勧告発令中</li> <li>・お子さんは小学1年生</li> <li>・自宅は1階建て平屋</li> </ul> <p><b>A: 近所の方と一緒に避難所に向かうよう連絡する。</b></p> <p><b>B: それ以外</b></p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>第2問 「運転中のゲリラ豪雨」に関して</b></p> <p>あなたは現在、自動車を運転中ですが、ゲリラ豪雨により道路に水が溜まりつつあります。 数百メートル進んだ先は高台（避難所）がありますが、道路は大渋滞中です。 ここで問題です。あなたは車を脇道に止め高台まで歩いて（走って）避難しますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休日の夕方(18時頃)</li> <li>・高台までは約1km</li> <li>・車はゆっくり進んでいます</li> <li>・タイヤの半分まで浸水</li> </ul> <p><b>A: 避難する。</b></p> <p><b>B: 避難しない</b></p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  </div> </div>	
ポイント（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらためて避難時の行動について考えることができる。</li> <li>・自分が思いもよらなかった考えに気づけ、楽しみながら色々な住民の意見を共有できる。</li> <li>・参加した災害経験者から当時の話を聞くことができ、若い世代に災害を継承することができる。</li> </ul>	

### Ⅲ. 住民が情報を適切に理解するための取組

種 別	Ⅲ-2. 訓練・マップ作成などの取組	
細 別	まるごとまちごとハザードマップの普及	G-01
事 例	まるまち標識の設置 —	
概 要	地域において洪水の危険性を実感できるよう、居住地域をまるごとハザードマップと見立て、生活空間である”まちなか”に水防災にかかわる情報を表示した取組の一つである。	
内 容	<div data-bbox="354 600 1401 1258" style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <h4 style="text-align: center;">設置イメージ</h4>  <p><b>記号</b></p> <p>まるごとまちごとハザードマップ標識(略して「まるまち標識」)は全国共通の統一的な図記号を用いています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="406 1064 901 1220" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>洪水時避難所 Flood Evacuation shelter 〇〇〇しょうがっこう 〇〇小学校 〇〇〇 elementary school</p>  <p style="text-align: right;">200m 〇〇市 〇〇市街</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">左から、洪水、避難所(建物)、矢印(距離)の順</p> </div> <div data-bbox="933 873 1332 1108"> <ul style="list-style-type: none"> <li>●洪水 【図記号の意味】 河川がはん濫した状態を示す。</li> <li>【図記号の目的】 当該地域が洪水の影響を受ける可能性がある地域であることを示す。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●避難所(建物) 【図記号の意味】 災害発生時安全な避難所(建物)を示す。</li> <li>【図記号の目的】 災害時の避難先となる安全な建物を示す。</li> </ul>  </div> </div> </div>	
ポイント (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常時に洪水への意識を高めることができる。</li> <li>・ 発災時には安全かつスムーズな避難行動につながる。</li> <li>・ 浸水深や避難所等の知識の普及につながる。</li> </ul>	



### Ⅲ. 住民が情報を適切に理解するための取組

種 別	Ⅲ-2. 訓練・マップ作成などの取組	
細 別	マイ防災マップの普及	
事 例	マイ防災マップの作成（水害協、京田辺市、久御山町による取組）	G-02
	<a href="http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/activity/comit/kyogikai/kizuki/docs/H-01.pdf">http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/activity/comit/kyogikai/kizuki/docs/H-01.pdf</a>	
概 要	市町の地域特性や河川の氾濫特性を勘察した上、住民がまち歩きにより危険箇所等を確認し、住民が主体となって安全な避難ルートや避難方法を話し合い、安全な避難行動の実現に向けた取組の一つである。	
内 容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>マイ防災マップの作成手順書（案）</b></p> <p style="text-align: center;">【水害編】 〈自治体職員向け〉</p>  <p style="text-align: center;">平成25年3月</p> <p style="text-align: center;">淀川管内 水害に強い地域づくり協議会</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>Ⅳ. マイ防災マップの作成手順</b></p> <p>マイ防災マップ作成の作業過程には、大きく4つの段階（ステップ）があります。</p> <p>●全体の流れ</p> <p><b>ステップ1</b> マイ防災マップを作成する自治会の募集</p> <p>↓</p> <p><b>ステップ2</b> マイ防災マップ作成の準備</p> <p>↓</p> <p><b>ステップ3</b> マイ防災マップ作成の作業支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水害の基礎知識の習得</li> <li>2. 地形等の地域特性の把握</li> <li>3. 危険箇所の記入</li> <li>4. 避難ルート案(仮)の検討・選定</li> <li>5. まち歩き</li> <li>6. まち歩き結果の反映と報告・共有</li> <li>7. 避難に向けた話し合い</li> <li>8. マイ防災マップ(案)の精査</li> </ol> <p>↓</p> <p><b>ステップ4</b> マイ防災マップの配布・説明</p> </div> </div>	
	 <p style="text-align: center;">京田辺市 河原区 マイ防災マップ 水害編</p>	 <p style="text-align: center;">まち歩きの状況</p>  <p style="text-align: center;">安全な避難ルートの話し合い</p>
ポイント (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マップの作成過程を経ることで、住民は水害への備えや避難時の自助・共助の意識が高まる。</li> <li>・地域（自治会単位等）が一体となり、地域防災力の向上につながる。</li> <li>・マイ防災マップを作成された自治会では多くの住民が避難された。</li> </ul>	

### Ⅲ. 住民が情報を適切に理解するための取組

種 別	Ⅲ-2. 訓練・マップ作成などの取組																									
細 別	防災・避難訓練																									
事 例	災害図上訓練 (DIG)	G-04																								
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DIG とは参加者が地図を囲んで書き込みを行い、楽しみながら行う図上訓練である。</li> <li>・ DIG を通して地域に起こりうる災害像をより具体的にイメージし、その後、取るべき行動等について住民と行政が共に考えるために開催するものである。</li> </ul>																									
内 容	<p><b>浸水想定区分</b></p> <table border="1"> <tr> <td>5.0m～</td> <td>2階の軒下まで</td> </tr> <tr> <td>2.0～5.0m</td> <td>1階の軒下まで</td> </tr> <tr> <td>1.0～2.0m</td> <td>大人の腰程度</td> </tr> <tr> <td>0.5～1.0m</td> <td>大人の膝程度</td> </tr> <tr> <td>0.5m未満</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>凡 例</b></p> <table border="1"> <tr> <td>避難所</td> <td>サイレン</td> </tr> <tr> <td>播種避難所</td> <td>水位観測所</td> </tr> <tr> <td>一時避難所</td> <td>排水ポンプ場</td> </tr> <tr> <td>交番(警察)</td> <td>危険箇所(アンダーパス)</td> </tr> <tr> <td>消防団施設</td> <td>避難が必要になる地区</td> </tr> <tr> <td>災害時避難経路(避難ルート)</td> <td>避難経路</td> </tr> <tr> <td>ヘリポート</td> <td>避難する方向</td> </tr> </table>		5.0m～	2階の軒下まで	2.0～5.0m	1階の軒下まで	1.0～2.0m	大人の腰程度	0.5～1.0m	大人の膝程度	0.5m未満		避難所	サイレン	播種避難所	水位観測所	一時避難所	排水ポンプ場	交番(警察)	危険箇所(アンダーパス)	消防団施設	避難が必要になる地区	災害時避難経路(避難ルート)	避難経路	ヘリポート	避難する方向
5.0m～	2階の軒下まで																									
2.0～5.0m	1階の軒下まで																									
1.0～2.0m	大人の腰程度																									
0.5～1.0m	大人の膝程度																									
0.5m未満																										
避難所	サイレン																									
播種避難所	水位観測所																									
一時避難所	排水ポンプ場																									
交番(警察)	危険箇所(アンダーパス)																									
消防団施設	避難が必要になる地区																									
災害時避難経路(避難ルート)	避難経路																									
ヘリポート	避難する方向																									
ポイント (効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に起こりうる災害を住民自らがイメージできる。</li> <li>・ 命を守るための知識を習得できる。</li> <li>・ 自らが地域に伝えていく力が備わる。</li> </ul>																									